

CFFジャパンパートナーのご案内



2026年1月8日

NPO法人 CFFジャパン

現状と課題 なぜ今、支援が必要か

海外事業地は安定。一方で、**ジャパン**は危機的状況に。



これまでの成果

CFFサポーターの継続的なご支援のおかげもあり、**CFFフィリピン/マレーシア**の運営は安定



直面している課題



海外プログラム集客の遅れ

コロナ禍前の水準まで参加者数が回復していない



円安の直撃

現地への送金・支払いコストが大幅に増加



基盤の脆弱化

国内事業を支える管理費の不足

CONCLUSION



30周年を迎える2026年を、

「**財政基盤を立て直す最初の1年**」と位置づけます。

CFFジャパンパートナー制度の概要

CONCEPT

CFFジャパンの**基盤**となっていていただく特別な支援枠です



設立の目的

1 財政基盤の強化と活動の継続

ジャパンの財政基盤を強化し、NPOとしての活動を安定・継続させます。

2 参画と評価の仕組み

支援者が事業に参画し、活動を評価できる透明性の高い仕組みをつくりまします。

3 国内事業の発展

青年育成・教育・地域親子、子ども支援といった国内事業を発展させます。



ご支援の使途



青年育成・教育事業

次世代のリーダーを育てるプログラム運営費や学校協働事業に活用します。



地域子育て・学習支援

子育てひろばや小学生への学習支援活動など、地域の親子・子どもへの支援事業を支えます。



団体の持続可能性向上

安定的な組織運営を行うための管理運営費（事務局体制維持など）に充てられます。

支援の内容と参画のあり方

ご支援を通じて、活動のプロセスを共に見守っていただける制度です



ご支援額

一口

10万円

または

毎月 1 万円~

※寄付金控除の対象となります



募集目標

2026年11月までに

35名

パートナー獲得



参画

- 年次レポート送付**
事業報告会へもご招待
- 総会への参加**
活動状況を直接ご確認いただけます
- 理事との食事会**
CFFのビジョンを語り合う場にご参加いただけます

※月額5,000円の関わり方（Lightプラン）も選べます

Lightプランの場合は、年次レポート送付と総会への参加という形で活動を見守っていただけます。

FAQ

① プランを教えてください

ご自身にあった寄付金額をお選びいただけます。

個人・法人 共通

月額	10,000円/月 20,000円/月 30,000円/月 (Lightプランは5,000円/月)
----	--

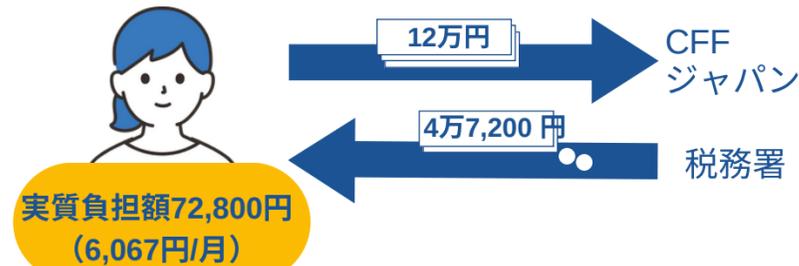
年額	10万円/年 (1ヶ月あたり8,333円) 20万円/年 (// 16,667円) 30万円/年 (// 25,000円)
----	---

月額は毎月1回、年額は毎年1回の自動引き落としとなります。

② 寄付金控除について教えてください

CFFジャパンは認定NPO法人です。寄付金控除（税制優遇）を受けることができます。（詳しくは[こちら](#)）

年間12万円の寄付をして税額控除を利用した例



(120,000円 - 2,000円) × 40% = 47,200円の税額が還付されます。

年間6万円（Lightプラン）の寄付をして税額控除を利用した例



(60,000円 - 2,000円) × 40% = 23,200円の税額が還付されます。

東京都在住の方が年間12万円の寄付をして税額控除を利用した例



47,200円の税額控除に加え、最大11,800円の個人住民税の税額控除も受けられる場合があります。

東京都在住の方が年間6万円（Lightプラン）の寄付をして税額控除を利用した例



23,200円の税額控除に加え、最大5,800円の個人住民税の税額控除も受けられる場合があります。

お住まいの自治体によって、住民税からも寄付金額の最大10%の控除を受けることができます。詳しくはお住まいの自治体（税務課等）へお問い合わせください。

FAQ

3 「CFFジャパンパートナー」は、既存の「CFFサポーター」とどう違いますか？

CFFサポーターのご寄付は、半分以上がCFFフィリピン・CFFマレーシアの支援や、海外プログラム旅行費用補助制度（かえるファンド）の費用となります。そのため、コロナ禍以降本格化しているCFFジャパンの国内事業に使用できる費用は小さくなります。

一方、CFFジャパンパートナーのご寄付は、青年育成・教育・地域親子、子ども支援といった**CFFジャパン独自の国内事業の発展と財政・組織基盤強化**に特化して使用させていただきます。

<CFFジャパン独自の国内事業（一例）>

※受益者数は、2025年の数字



CFFまなカフェ （学習支援）

世田谷区烏山地域の小学生のべ301名に、学習のサポート、多世代・多文化との交流の場を創りました。



CFF子育てひろば

世田谷区烏山地域の親子のべ234組へ、地域で親子がともに育ち合える場を提供しました。



学校協働プログラム

大学・高校等と協働し、150名の生徒・児童へ国際交流やSDGsの課題についての授業プランを作成・実施しました。



インターローカル

能登半島地震被災地へのボランティア派遣はじめ、地域での交流活動に850名が参加しました。

30周年、
そしてその先の
未来へ。

CFFジャパンがこれからも
「子どもと青年の育ち合い」
の拠点であり続けるために、
皆様のお力が必要です。

共に未来を築く「パートナー」
となっていただけますよう
どうぞよろしく願いいたします。

CFFジャパンパートナーの
お申し込み



[https://cffjapan.org/support/
cff-japan-partner](https://cffjapan.org/support/cff-japan-partner)

その他、お問い合わせはこちらからメールください。
✉ info@cffjapan.org